

認知症初期集中支援チームという言葉をご存知ですか？

認知症集中支援チームとは、複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを行うチームを言います。

対象者は、40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人となっています。

◆医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人。

(ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人、(イ) 継続的な医療サービスを受けていない人、

(ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない人、(エ) 診断されたが介護サービスが中断している人

◆医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している。

現在、飯塚市、嘉麻市、桂川町の圏域においては、飯塚医師会が事業委託先であることから、当院は認知症サポート医、チーム員の派遣を実施、又、直方市、宮若市、鞍手町、小竹町においては、事業の委託を当院認知症医療センターが担い、現在は宮若市、小竹町より1件ずつ、合計2件の事業を実施しています。

皆様方の圏域で上記のことで何かお困りの方がおられましたら、お住まいの地域の地域包括支援センター

までご相談いただければ幸いです。

最後に、当院にて今年9月に開催しました、

小竹町のチーム員会議の様子を掲載させていただきます。

